

日高支部だより

2017 vol. 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 2月28日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒057-0034

浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77

樹下神田組内

TEL 0146-22-3121

FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

平成29年度(第64回)日高支部通常総会開催

～事業計画(案)ならびに予算(案)を確認～



日高管内の会員約20名が出席



懇親会の様子



伝統のじゃんけん大会

平成28・29年度 役員体制

支部長	土井宗太郎	(浦河町)
副支部長	木原宗孝	(新ひだか町)
"	池田尚登	(様似町)
会計理事	田村勝弘	(浦河町)
理事	藤江睦博	(日高町)
"	津川司	(平取町)
"	古川昌広	(新冠町)
"	齋藤智光	(")
"	村田貞光	(")
"	小松和彦	(新ひだか町)
"	高橋幸二	(")
"	山下聡	(")
"	谷茂樹	(")
"	森田正広	(")
"	三嶋克昭	(")
"	中村一重	(")
"	高田良一	(浦河町)
"	大谷晃平	(")
"	八谷龍二	(様似町)
"	浜波賢	(えりも町)
"	菊地峰生	(")
監事	石井諭	(新ひだか町)
"	小田貢	(浦河町)

青年委員長	森勝利	(新ひだか町)
副委員長	津山浩	(")
"	亀田誠	(")
幹事	門野智	(日高町)
"	船木一	(")
"	谷山勝広	(平取町)
"	栗山匠太	(新冠町)
"	草野潤	(")
"	村田直樹	(新ひだか町)
"	大野啓輔	(浦河町)
"	田頭教行	(様似町)
"	渡邊忍	(")
"	久保美津之	(えりも町)
"	岡崎忠智	(")

3月に開催予定の(一社)北海道建築士会通常総会に先立ち、2月4日(土)、新ひだか町のホテルローレルにて、日高支部の通常総会が開催されました。

土井支部長のあいさつの後、①会員の動静、②平成28年度事業報告、③平成28年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、続いて、①平成29年度事業計画(案)、②平成29年度収支予算(案)の2件の議案が提案され、すべて承認されました。なお、今年度の親睦事業の開催地は、浦河町に決定しましたので、みなさまのご参加、よろしく願いいたします。

例年、新ひだか町と浦河町の持ち回りで開催している本総会ですが、管内7町に散在する会員が一堂に会する貴重な場となっていますので、多くの会員のみなさまのご出席を賜りますようお願い申し上げます。

総会終了後は、恒例の懇親会が執り行われました。木原副支部長の乾杯の後、懇談をはさみ、早々とリーチになるもなかなかピンゴと言えないBINGO大会、さらには、道産米争奪戦、土井支部長とのジャンケン大会と、例年同様、楽しいひと時となりました。池田副支部長の締めによりつつがなく総会を終えることができました。

日高支部だより

2017 vol. 2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 3月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

全道青年委員会連絡会議 開催

～『ひろげる・つなげる』～



石塚委員長＝主催者あいさつ



高野会長＝来賓あいさつ



道青年委員会 役員紹介



石塚委員長＝懇親会開会あいさつ



懇親会恒例の建築クイズ大会

3月25日（土）、札幌市で、平成29年度全道青年委員会連絡会議が開催され、全道各地から70名の各支部青年委員会役員等が参集し、当支部からも森 青年委員長、村田 幹事、隅谷さんが出席しました。

この会議は、例年、本部総会の翌日に開催され、前年度の道青年委員会の活動状況ならびに当該年度の事業計画を確認するとともに、勉強会や意見交換会等を行っています。

本年は、会議の後、研修会を開催。これからの支部活動のヒントを得ることを目的の1つとして、各支部の青年委員長が平成28年度の活動報告を行いました。会員増強が進まない中、少ない人数で創意工夫して活動していることが伺えました。また、その後の各ブロックに分かれての意見交換会でも活発な議論が交わされました。

懇親会では、もはや恒例となった建築に関するクイズ大会を開催。難問もあるなか、ブロックごとの予選を勝ち残った精鋭たちが決勝で会いまみえ、真剣勝負が繰り広げられました。ボケ担当の存在が欠かせない楽しいひと時を過ごすことができました。

日高支部だより

2017 vol 3

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 5月21日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

青年建築士の集い（苫小牧大会）開催

～とびだせ全国大会へ!! 地域実践活動発表選抜選手権～



石塚委員長＝主催者あいさつ



高野会長＝来賓あいさつ



会場の様子＝苫小牧市文化交流センター（アイビープラザ）



田中陽二氏＝基調講演



高野会長より推薦状授与＝函館支部

5月20日（土）、苫小牧市で、青年建築士の集いが開催され、全道各地から76名が参加するなか、当支部からも森 青年委員長と津山・亀田副青年委員長、村田 幹事が出席しました。

二部構成の第一部では、昨年に引き続き全国大会発表支部の選抜大会が開催され、事前に選出された道央ブロック空知支部、道北ブロック旭川支部、道東ブロック十勝支部、そして、道南ブロックを代表して、当支部の森 青年委員長がちびっ子建築士の絵画コンクールの10年間を振り返りプレゼンを行いました。投票の結果、落選、旭川支部が全国大会への切符を手に入れました。

後半の第二部では、文化庁文化財部伝統文化課国立アイヌ民族博物館設立準備室の田中陽二氏の『国立アイヌ民族博物館基本設計の内容』と題した講演を拝聴しました。先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化創造及び発展に寄与することを基本理念として、現在、白老町において、建設が進められている同施設は、オリンピックイヤーの2020年完成予定です。

日高支部だより

2017 vol 4

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 5月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77
榎下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

完成現場見学会開催

～新ひだか町総合町民センター『はまなす』～



土井支部長＝主催者あいさつ



永坂工事長＝現場代理人による説明



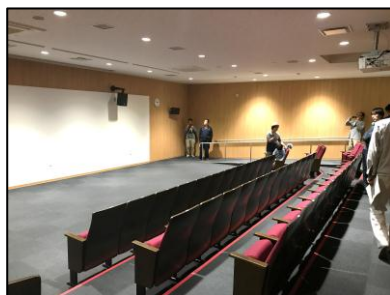
外観＝あいにくの雨模様・・・



図書館三石分館

5月27日(土)、新ひだか町で、完成現場見学会が開催され、急な呼びかけにもかかわらず、15名が参加しました。

三石福祉センター跡地に完成した新ひだか町総合町民センター『はまなす』は、庁舎、多目的文化ホール、図書館の機能を備えた地上3階建、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、延べ面積4199.16㎡で、設計を榎創建社、建築主体工事を岩田地崎・酒井・出口・池内特定建設工事共同企業体が請け負い、電気・空調・換気・衛生工事を含め、総工費約19億4千万円となっています。



シアタールーム

当日は、あいにくの雨模様となりましたが、土井支部長のあいさつの後、現場代理人として翌々日に検定を控え、多忙にもかかわらず本見学会に説明委員として参加いただいた永坂 充 岩田地崎建設(株)建築本店建築部建築課工事長によるあいさつと概要説明を受け、館内を見学しました。

地方に住む建築士では、なかなか携わる機会のない大型物件とあって、参加した会員と永坂 工事長との間では、熱心な質疑が取り交わされていました。

日高支部だより

2017 vol 5

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 7月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

建築士による住教育出張講座（建築士向けセミナー）開催

～地域における住教育普及推進業務の遂行のための講師養成～



7月22日（土）、新ひだか町で、建築士による住教育出張講座（建築士向けセミナー）が開催され、当支部から10名、十勝支部から5名が参加しました。

（一社）北海道建築士会では、将来の住まい手や住まいづくりの担い手となる子ども達の住意識向上を図ることを目的として、平成25年度から、北海道建設部が委託する「地域における住教育普及推進業務」を受託し、道内の高校に出向いて、住居分野授業の中で出張講座を開催していますが、5年目をむかえ、全道に広がりを見せる一方で、講師不足という課題を抱えています。この課題解消に向け、講師養成講座を毎年開催してきており、このたび、当支部において開催されたものです。

講座では、札幌支部の鈴木彩恵さん、往田協子さん、十勝支部の中鉢和貴さんより、本事業の概要ならびにこの間の実施状況の説明を受けたのち、参加者は、実際に高校生が行う課題に取り組みました。

日高支部だより

2017. vol 6

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年 9月30日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

ちびっ子建築士の絵画コンクール表彰式開催 ～入賞者9名を表彰～



支部長賞＝設楽 幸さん（三石小）



金賞＝菊地 ゆうなさん（二風谷小）



金賞＝梅田 健吾さん（平取小）



金賞＝海野 春空さん（平取小）



金賞＝竹内 吾緒さん（門別小）



表彰者全員での集合写真

9月16日（土）、新ひだか町地域交流センターピュアプラザにおいて、平成29年度ちびっ子建築士の絵画コンクール表彰式を開催しました。この事業は、会員の高齢化が進む一方、地方における建設工事低迷を背景とする若年層建築士の地方離れが進む実情を改善するための草の根活動として、子ども達の将来の選択肢に『建築士』が加わることを期待して、日高管内の小学4年生を対象に「ぼくのいえ・わたしのいえ」をテーマに行っているものです。

今年も日高管内の12校から52作品の応募をいただき、8月29日（火）に厳正に審査を行った結果、支部長賞1点、金賞4点、銀賞8点の受賞者を決定しました。

当日は、急な案内にもかかわらず、受賞者13名中9名の児童に出席いただき、木原副支部長より『みなさんの中から、1人でも多く建築士が生まれることを期待しています。』とあいさつした後、表彰、記念品を贈呈しました。また、応募者全員をちびっ子建築士に認定し、認定証を後日、交付しました。なお、受賞者は、次のとおりです。

- 【支部長賞】設楽 幸（三石）
- 【金賞】菊地 ゆうな（二風谷）・梅田 健吾（平取）・海野 春空（平取）・竹内 吾緒（門別）
- 【銀賞】坂本 美冬（二風谷）・森 清孝（二風谷）・横沢 慧（二風谷）・白石 葉夏（貫気別）
山口 乙都羽（平取）・山田 積希（平取）・大塚 琉生（平取）・渡部 瑠菜（えりも岬）

日高支部だより

2017. vol. 7

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年10月10日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

NISEKO GLOCAL ~共生と連携のまちづくり~

~第42回（一社）北海道建築士会全道大会（後志大会）に参加~



A分科会=女性委員会担当



B分科会=まちづくり委員会担当



C分科会=青年委員会担当



懇親会=次年度開催地PR（士別支部）



大会式典=高野会長から感謝状を授与される三嶋理事

9月30日、第42回（一社）北海道建築士会全道大会（後志大会）が開催され、当支部から、高橋理事、三嶋理事、同青年委員会から、森委員長が出席しました。

式典では、大会実行委員長の榎 後志支部長が管内8町村の魅力をPRした上で「グローバルな視点とローカルな自然環境や生活文化が織りなす後志での大会が、実り多きものとなることを祈念しています。」と力強くあいさつした後、高野会長が主催者を代表し、「大会テーマ『NISEKO GLOCAL（ニセコ グローカル）～共生と連携のまちづくり～』を3分科会を通して実感していただきたい。」とあいさつしました。その後、19支部36名への会長表彰、2016熊本地震に応急危険度判定士として派遣、活躍された木幡 正和さん（恵庭支部）と当支部の三嶋 克昭 理事への感謝状授与、さらに、分科会報告を受け、式典は滞りなく閉会しました。続いて、ローマ法王に米を献上し、ブランド化に成功するなど、限界集落を蘇らせた『スーパー公務員』と言われ、ドラマ『ナポレオンの村』のモデルとなっている高野 誠鮮（たかの じょうせん）氏による『限界集落からの脱却～現実の「ナポレオンの村」』と題した基調講演を拝聴しました。

来年は、2018年10月6日（土）、上川管内の士別市で開催されます。この機会に、士別サフォークラムを食べに行きませんか？

日高支部だより

2017 vol 8

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年10月20日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

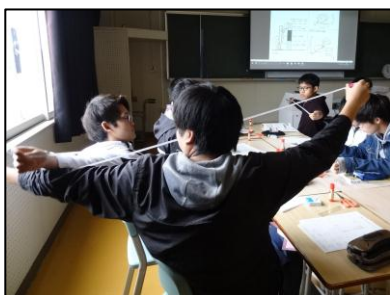
編集責任者：森 勝利

建築士による住教育出張講座

～北海道追分高等学校で、会員3名が講師を務める～



講義の様子



メジャーを使い寸法の確認



設計課題に取り組む生徒の様子



授業を見学する追分高校の先生



発表者の作品

10月20日、北海道追分高等学校にて、今年度6校目となる建築士による住教育出張講座が開講され、札幌支部の後藤さん、小林さん、恵庭支部の金子さんとともに、当支部から、三嶋理事、同青年委員会から、森委員長と亀田副委員長が参加し、講師を務めました。

同校は、普通科1学年1クラスの小規模校で、当日は、2年生37名の3・4時限目の家庭科の授業で講義および実習を行いました。生徒は、5グループに分かれ、はじめに、25分程度、設計に関する基礎知識についての講義を受け、その後、休憩も含めて約1時間、設計課題に取り組むと内容で、1グループに講師が1人就き、指導を行いました。途中、動線にどれだけの幅が必要か、メジャーを使い確認したり、床にテープで表示した畳1枚のスペースが意外と狭いことを確認したりしながら、自分が設定した年齢・職業、その時どのような生活をしているかを想像しながら、思い思いの間取りを設計していました。

最後に、未完成ながらも、各グループから1名、自分の設計内容について発表してもらいましたが、講師としてもいろいろな「気づき」を得る一日となりました。機関紙「北海道建築士」にも同封されていますが、授業参観者も募集しておりますので、まずは、見学から参加されてはいかがでしょうか。

日高支部だより

2017.10.9

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年10月30日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

避難所運営ゲーム (HUG) 北海道版～D oはぐ～

～避難所運営を体感し、住民・建築士として課題を確認～



開催地あいさつ＝木原 副支部長



主催者あいさつ＝牛田 応急支援委員長



ゲーム終盤＝予期せぬイベント発生に対応を考えるグループの面々



グループ発表＝一般参加の坂元さん



グループ発表＝村田 支部青年委員会幹事

10月28日、(一社)北海道建築士会被災地応急支援委員会主催の「D oはぐ 避難所運営ゲーム」が新ひだか町地域交流センターピュアプラザで開催され、同青年委員会道南ブロック協議会の役員ならびに当支部会員、さらに、一般参加者を含め、30名が参加しました。

もし、あなたが真冬の北海道で、しかも停電している状況下で、避難所で過ごすことになったら、そして避難所を運営する立場になったら・・・避難所運営ゲーム (HUG) 北海道版～D oはぐ～は、北海道に暮らす人々が避難所運営を自分事としてとらえ、自らの備えや地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に、道が作成した防災ゲームです。

6グループに分かれ、1時間半にわたり、リーダーが読み上げるカードに書かれた避難者の配置を速やかに決め、時折発生するイベントにも対応しながら、次々と訪れる素性の異なる避難者をテンポ良く配置していくという作業に、参加者は一応に苦勞していましたが、防災に対する様々な「気づき」を得たとの声が多く聞かれました。

終了後には、懇親会も開催し、さらに親睦を深めました。

日高支部だより

2017.10

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年11月10日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

支部親睦事業パークゴルフ大会 開催

～ 36ホールでの熱戦、バーベキューで親睦深める～



開会あいさつ=土井 支部長



プレー中の様子



スタート前の参加者の様子



懇親会の様子=バーベキュー館にて



閉会あいさつ=木原 副支部長

11月5日、毎年恒例の親睦事業として、うらかわ優駿ビレッジAERUでパークゴルフ大会が開催され、会員31名が参加しました。

開会に先立ち、土井支部長は、「去年は、トリプル台風による被災などを考慮して中止としましたが、日勝峠も先日、復旧し、まちにも活気が戻ってくることを期待します。ケガをすることはないと思いますが、今日一日、パークゴルフ、バーベキューを通して親睦を深めていただきたい。」とあいさつしました。

その後、参加者は、9組に分かれ、およそ2時間で36ホールをプレーした後、バーベキュー館に場所を移し、昼食を楽しみながら、表彰式を行いました。成績は、次のとおりです。

- 【順位】 1. 三浦 勇一 (様似) 2. 石井 諭 (新ひだか) 2. 山口 喜裕 (新冠)
4. 廣島 貴史 (新冠) 4. 武藤 伸一 (新冠) 6. 齊藤 智光 (新冠)
7. 村田 貞光 (新冠) 7. 小山内 健 (えりも) 9. 高橋 幸二 (新ひだか)
10. 亀田 誠 (新ひだか) 10. 木原 宗孝 (新ひだか) 12. 西村 修司 (新冠)
13. 森 勝利 (新ひだか) 14. 細野 秀紀 (新冠) 14. 三嶋 克昭 (新ひだか)
16. 久保 美津之 (えりも) 17. 附田 哲夫 (えりも) 17. 古川 洋子 (様似)
19. 酒井 高史 (浦河) 20. 渡邊 忍 (様似) 20. 大澤 憲吾 (新冠)
22. 津山 浩 (新ひだか) 23. 小松 和彦 (新ひだか) 24. 菊池 邦春 (振興局)
25. 小田 貢 (浦河) 26. 田村 勝広 (浦河) 26. 土井 宗太郎 (浦河)
26. 川上 康徳 (新ひだか) 29. 岩間 孝太 (えりも) 30. 隅谷 耕太郎 (新ひだか)
31. 新岡 達矢 (振興局)

日高支部だより

2017 vol.11



Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年11月20日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

地域住宅セミナー2017 開催

～これからの住宅に求められる環境技術についての理解深める～



開会あいさつ=久慈 課長



情報提供=菊地 係長



会場の様子



講演①=繪内 理事長



講演②=菊田 助教

11月8日、新ひだか町コミュニティセンターにて、北海道日高振興局主催（当支部後援）の地域住宅セミナー2017が開催され、会員を含む約40名が参加しました。

久慈 北海道日高振興局産業振興部建設指導課長の開会あいさつに引き続き、菊地 同課建築住宅係長より『「きた住まい」制度について』の情報提供、そして、「これからの住宅に求められる環境技術について」というテーマで、NPO法人パッシブシステム研究会・理事長（北海道大学名誉教授（工博））繪内 正道 氏、北海道大学大学院工学研究院 助教 菊田 弘輝 氏、それぞれによる講演を拝聴しました。

繪内理事長が、「北海道は広い。道央は札幌においても北と南では、取り得る選択肢には違いが現れる。ましてや、道北、道東、道南において同じ環境技術で収まるはずはない。しかし、その底流に…可能な限り市販エネルギー等に頼らない安全で安心な住宅でありたい…という環境計画が基本にあるなら、パッシブシステムや無暖冷房住宅に向けた Heating-freeとCooling-freeの戦略と戦術は今や確実に北海道民の手中にある、と考えるのは無謀であろうか？まったく、無謀とは思われない。」と講演を締めくくっていました。

日高支部だより

2017.12.12

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年11月30日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
榎下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

第3回道南ブロック協議会 開催

～道の駅なないろ・ななえ（施工中）、函館市公民館（完成済）を見学～



前説=高橋 一正 氏（榎二本柳慶一建築研究所）



道の駅なないろ・ななえ見学中の風景



道の駅なないろ・ななえ=11月とは思えない雪景色



函館市公民館



函館市公民館長による説明

11月25日、本年度最後となる道南ブロック協議会が函館市で開催され、森 青年委員長ほか4名が出席しました。

会議に先立ち、七飯町字峠下に建設中の道の駅なないろ・ななえ、その後、函館市に移動し、函館市公民館を見学した後、同館にて会議を行い、来年度の予定などを確認しました。

道の駅なないろ・ななえは、七飯町の『食』と『歴史』の発信・交流拠点とすることを基本としながら、町のみならず、道南圏域の魅力発信に資する施設として七飯町が建設中で、鉄骨造平家建、延べ面積988.76㎡、外壁及び内壁に道南杉材を使用するなど、地材地消にも取り組んでいます。年内の完成をめざし、急ピッチに作業が進められている中、ご厚意で見学させていただきました。オープンは、来春とのことです。

函館市公民館は、平成26年度に約2億円をかけて耐震化を含めた大規模改修を実施し、平成27年4月にリニューアルオープンした施設で、歴史的建造物の活用に力を入れている函館市のまちづくりの一端を伺える施設でした。

終了後には、懇親会も開催し、さらに親睦を深めました。

日高支部だより

2017 vol.13

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成29年12月10日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

山とまちと木造建築

～第60回建築士会全国大会「京都大会」に参加～



式典前に記念撮影



左：三井所 会長、右：門川 京都市長



醍醐寺五重塔＝府内最古の木造建築物



清水寺＝工事のため足場で覆われている



宇治上神社＝本殿が日本最古の神社建築

12月8日、第60回建築士会全国大会（京都大会）が京都市勧業館「みやこめっせ」で開催され、青年委員会から森 委員長、亀田・津山 副委員長、村田 幹事の4名が参加しました。

大会式典は、平安時代から番匠（御所務めの大工）により安全を祈願するために新年や建築現場での仕事初めの時に行われてきた儀式『鉦始め（ちょうなはじめ）』がオープニングセレモニーとして披露され、厳粛な空気に会場が包まれる中、黒木 大会実行委員長による力強い開会宣言にはじまり、滞りなく終了しました。

翌日は、早朝から京都府内で見学会を実施し、十円玉でおなじみの平等院鳳凰堂を皮切りに、本殿が日本最古の神社建築として知られる宇治上神社、京都府内最古の木造建築物である五重塔のある醍醐寺のほか、伏見稲荷大社、清水寺、銀閣寺、金閣寺、仁和寺、北野天満宮を巡り、建築士としての見識を深めました。

とくに、清水寺では、一般の観光客にとっては、改修のため残念となる所でしたが、景観に配慮した丸太組みの足場など、貴重な施工方法を見ることができ、良い経験となりました。